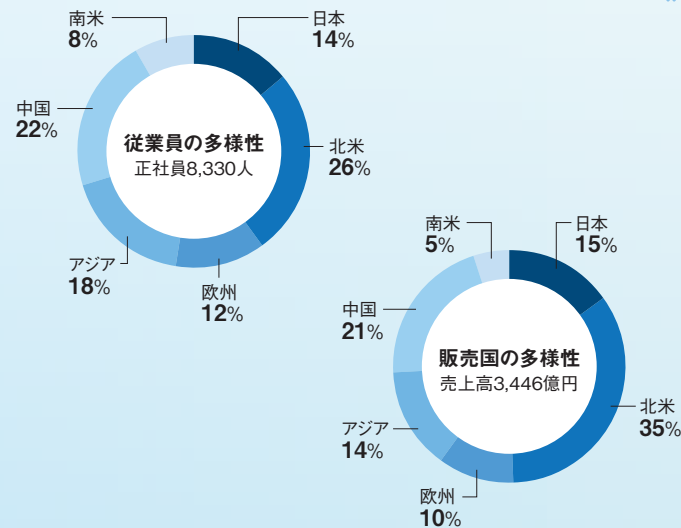


## グローバル拠点

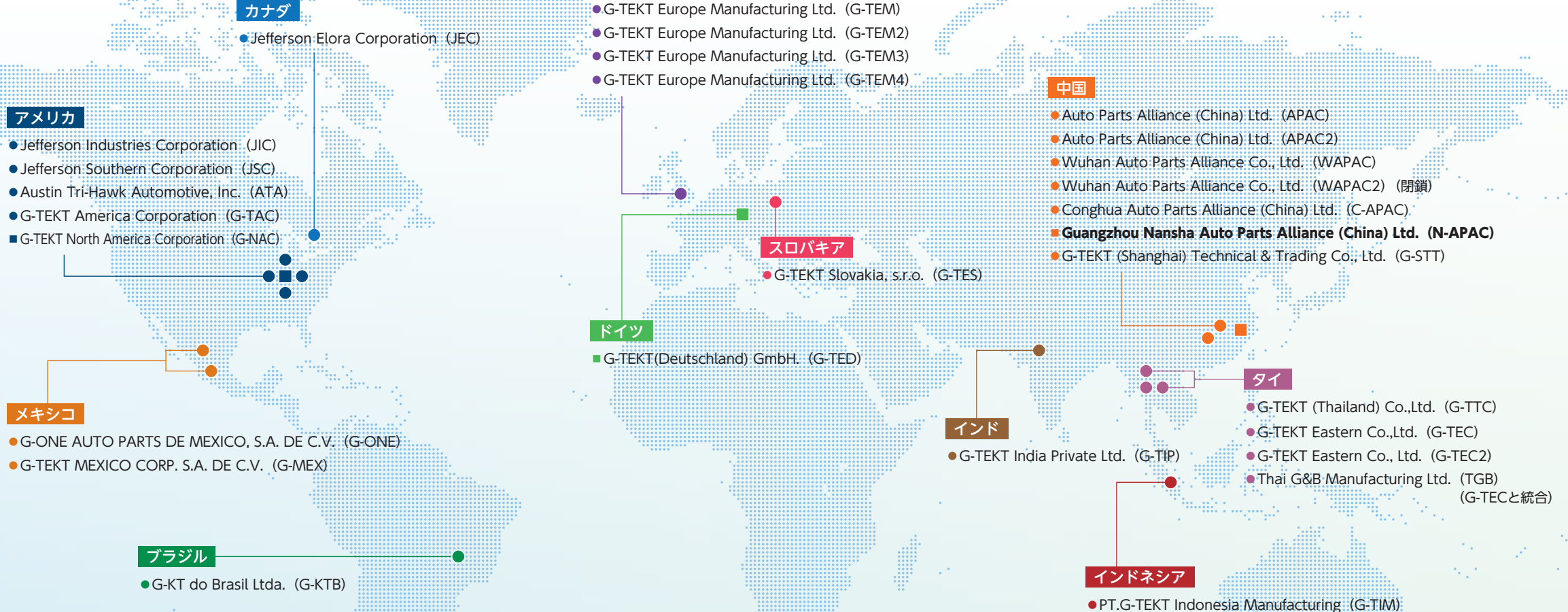
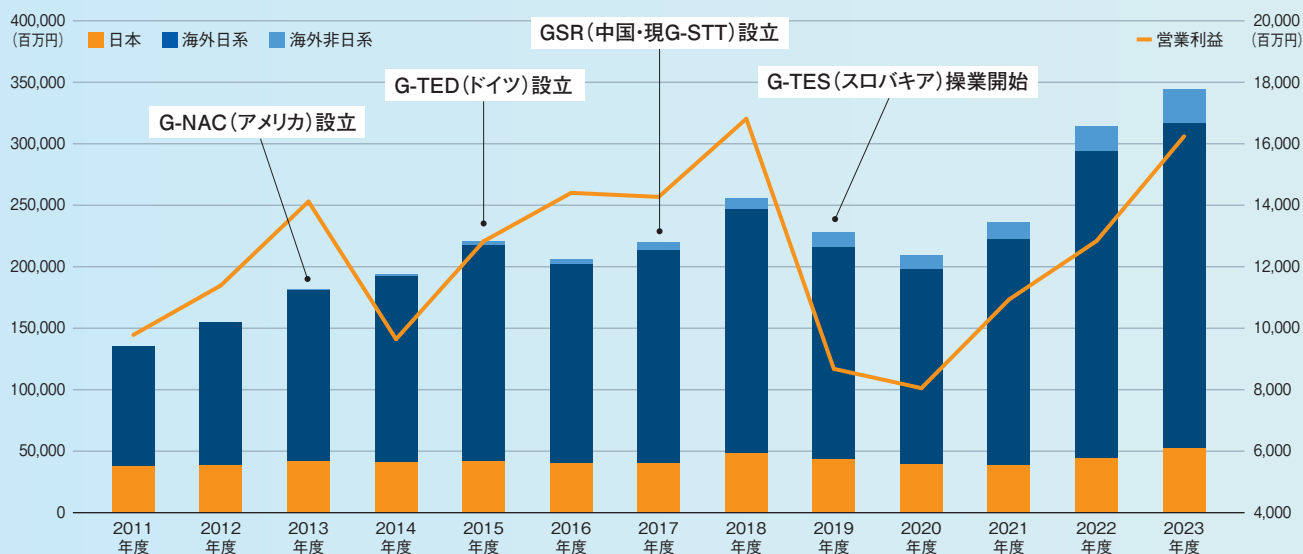
ジーテクトのグローバル拠点は、現在12か国に、28工場、3S&E、1R&D、1LABを展開しています。2024年度中には、29番目となる中国・南沙工場、30番目となる日本・中部工場が稼働を開始する予定です。

今後、電動化の流れがますます加速していくと考えられる中で、グローバル拠点はより重要な役割を担っていきます。現地拠点のさらなる強化と、拠点間の連携深化によって、スピードに乗り遅れない体制を構築していきます。

|                | 2011年度 | 2023年度  |
|----------------|--------|---------|
| 海外売上高          | 973億円  | 2,923億円 |
| 海外売上比率         | 72%    | 85%     |
| 非日系自動車OEM向け売上高 | 0億円    | 280億円   |



### 海外売上上の推移



## 生産拠点

ジーテクトの前身である菊池プレス工業と高尾金属工業は、自動車OEMの海外進出に追随する形で、1980年代に初の海外進出を果たしました。合併事業に参画した両社が相互に補完しつつ困難を克服する中で、海外事業の経営ノウハウを蓄積することができました。

その後も自動車OEMの完成車工場の近郊に工場を新設していき、受注も拡大しました。2019年には欧州大陸初となる生産拠点G-TES(スロバキア)が操業を開始しています。サプライヤーに求められる責任であるQCDを高水準でクリアできる体制を整えることによって、引き続き着実な受注につなげていきます。

## 研究開発拠点

10年後、20年後のクルマを見据えた研究を行う「G-TEKT TOKYO LAB (GTL)」を中心とした研究開発体制によって、将来の受注拡大を図っています。GTLのほか、R&D拠点「C&C栃木」では、お客様と密接に連携し、商品の開発・提案を通してお客様に働きかけています。

また、アメリカ・デトロイト、ドイツ・ミュンヘン、中国・上海には営業支援機能を持たせたS&E (Sales & Engineering) 拠点を設けています。S&E拠点の設置によって、現地のお客様のご要望にスピーディに対応できるため、非日系自動車OEMを含めたお客様から信頼を獲得し、受注拡大につながっています。また、現地の最新トレンドや技術動向をリサーチし、その情報を拠点間で展開することで、GTLにおける先進技術開発にフィードバックしています。

今後は、市場の実情に合わせたグリーンマテリアル採用など、事業を通したサステナビリティ推進の領域でも、各地域のお客様と連携を深めていきます。